

## 第2章

### 豊橋市の現状

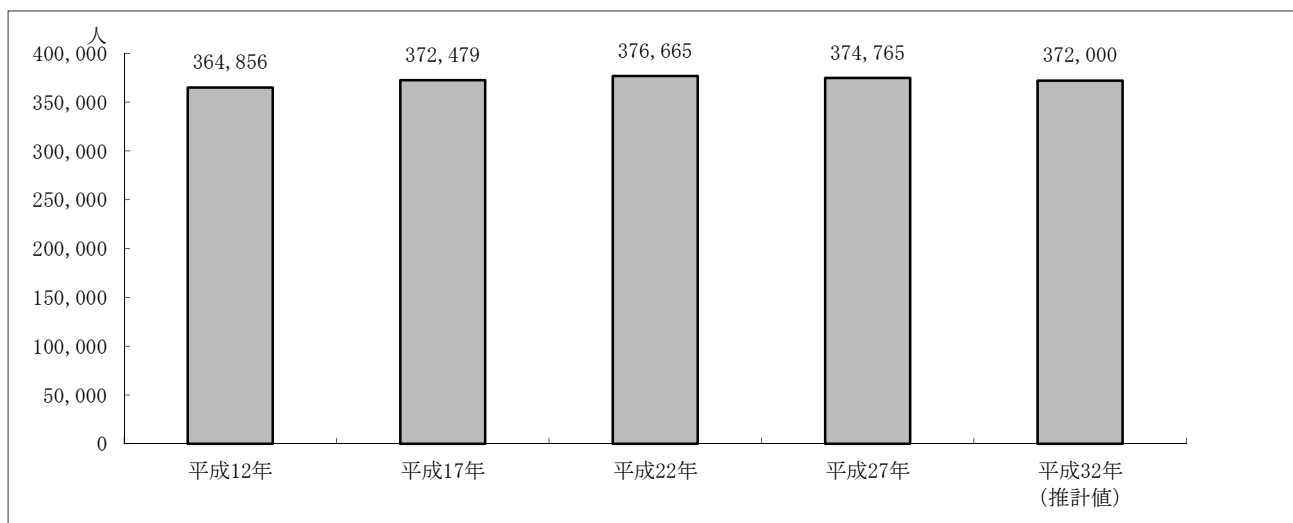
## 第2章 豊橋市の現状

### 1 人口の状況

本市の人口は、平成22年までは堅調に増えてきました。しかしながら、出生率の低下などにより平成32年には約372,000人になると推計しています。

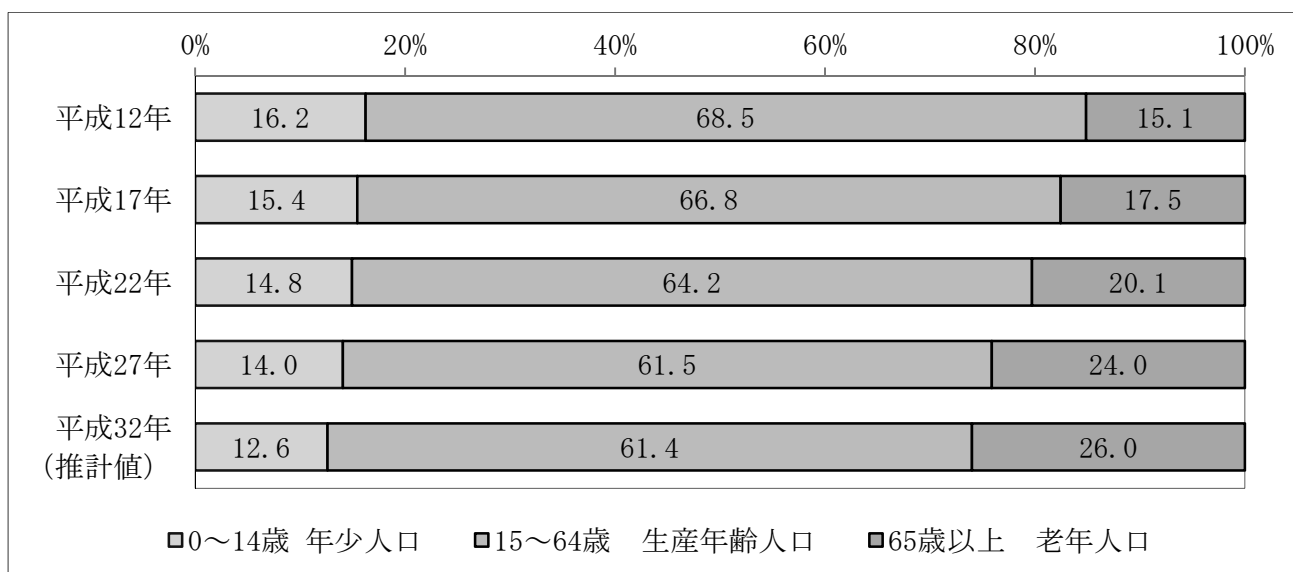
年齢階層別人口は、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が減少していく一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加し続け、平成32年には老年人口は26.0%と推計しています。

■ 図1：人口推移と推計



出典：国勢調査 平成32年は（第5次豊橋市総合計画後期基本計画）人口推計による推計値

■ 図2：年齢階級別（3区分）人口構成比の推移と推計

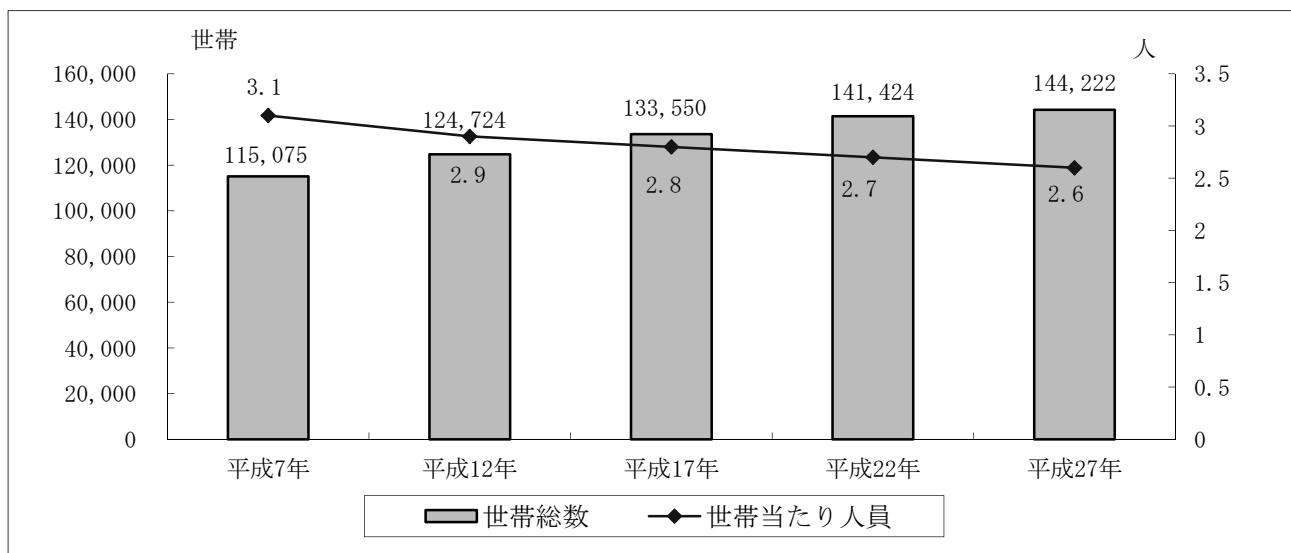


出典：国勢調査 平成32年は（第5次豊橋市総合計画後期基本計画）人口推計による推計値

小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

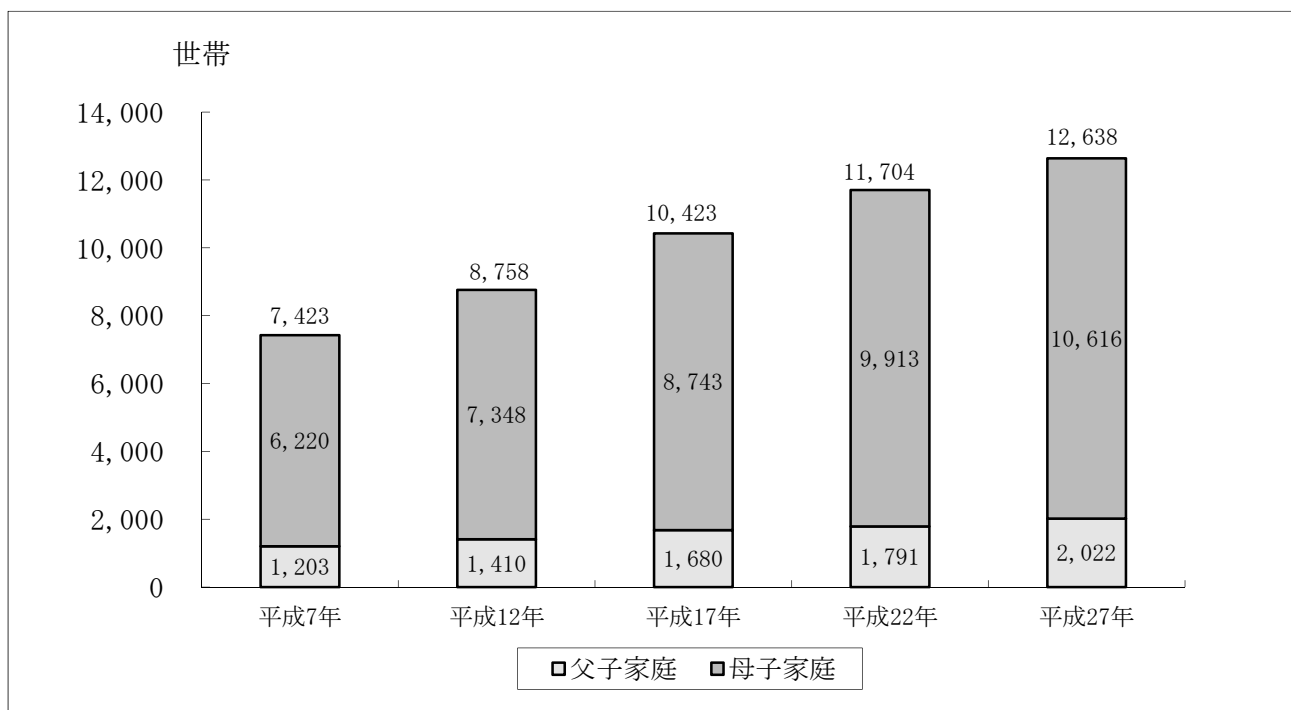
本市の世帯総数は増加しており、平成27年には144,222世帯です。ひとり親世帯は年々増加し、平成7年からの20年間で1.7倍になっています。

■ 図3：世帯総数と世帯人員の推移



出典：国勢調査

■ 図4：ひとり親世帯の推移



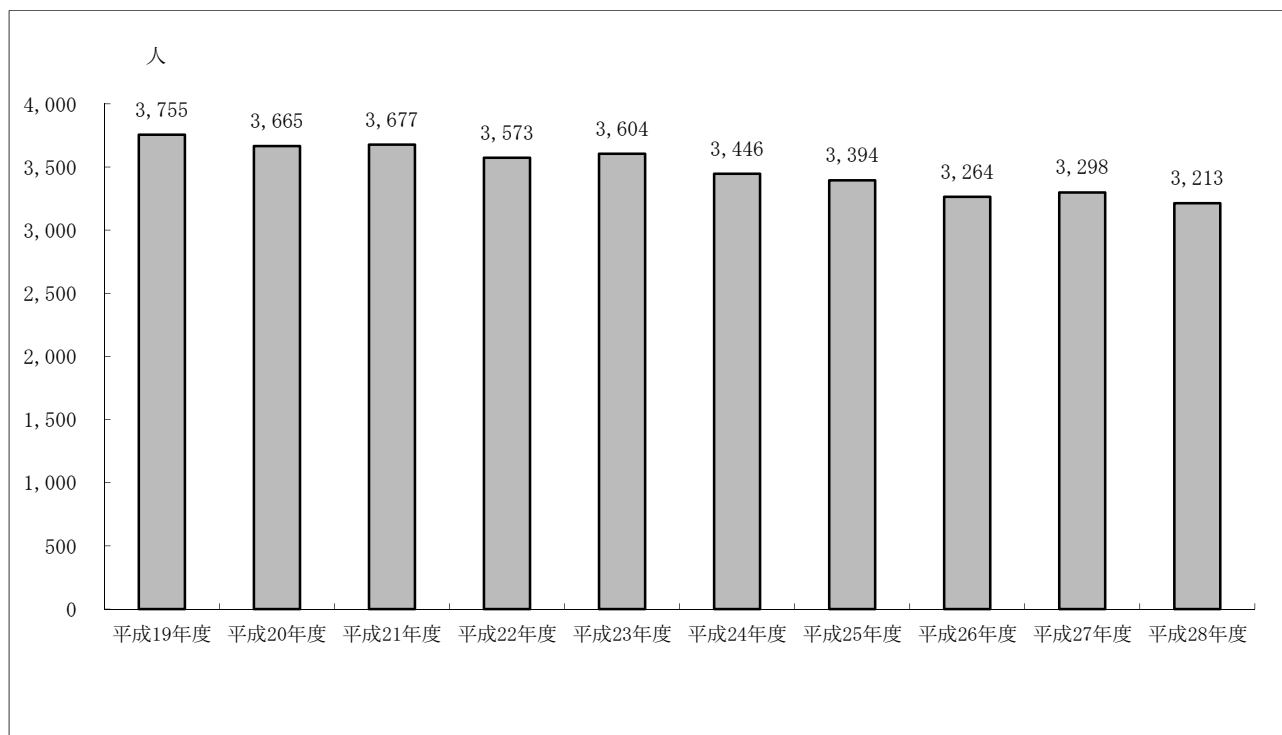
出典：国勢調査

## 2 出生

本市の出生数は、平成24年度以降減少傾向にあります。また、合計特殊出生率は、平成19年以降は国、県と同様に増加していますが、将来人口が増加するために必要な合計特殊出生率の2.10程度を下回っています。

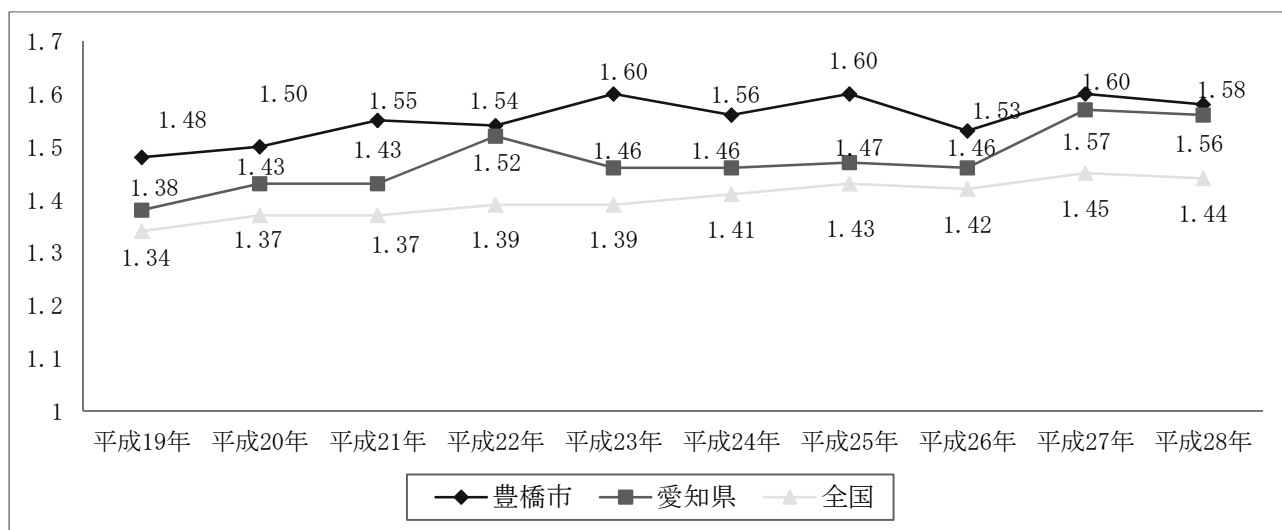
低出生体重児出生数は、減少傾向にあります。

■ 図5：出生数の推移



出典：住民基本台帳

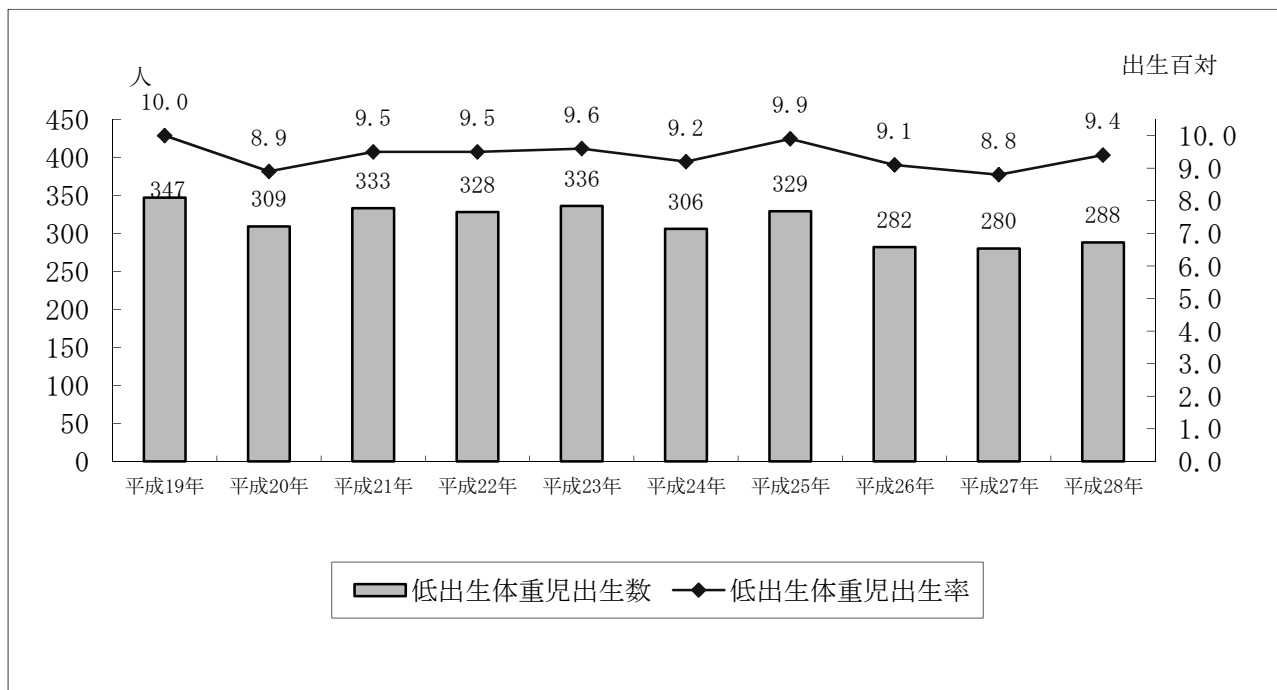
■ 図6：合計特殊出生率の推移



出典：全国、愛知県は「人口動態統計」 豊橋市は保健所健康政策課

「合計特殊出生率」：1人の女性が一生に産む子どもの平均数

■ 図 7 : 低出生体重児出生数と低出生体重児出生率の推移

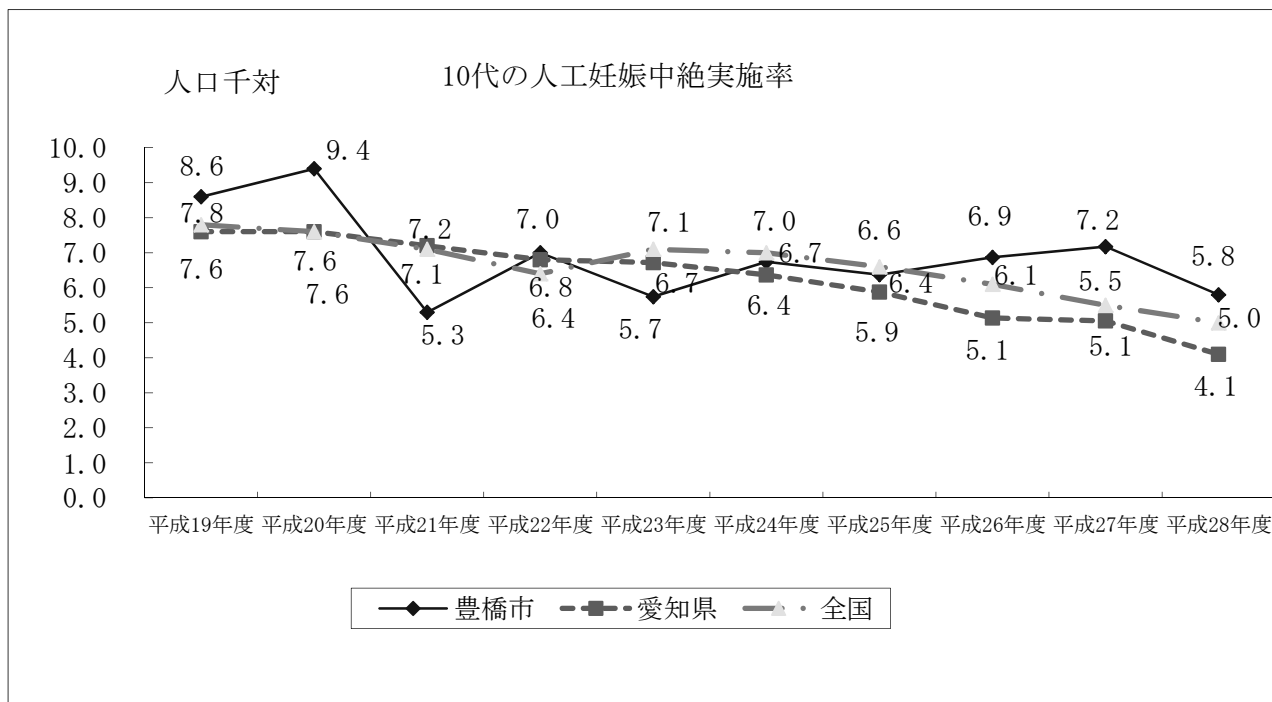


出典：愛知県衛生年報

### 3 人工妊娠中絶実施率・周産期死亡率・乳児死亡率

10代の人工妊娠中絶実施率は、国、県ともに減少しています。本市では増加傾向にありましたが、平成28年度には5.8へと減少しました。

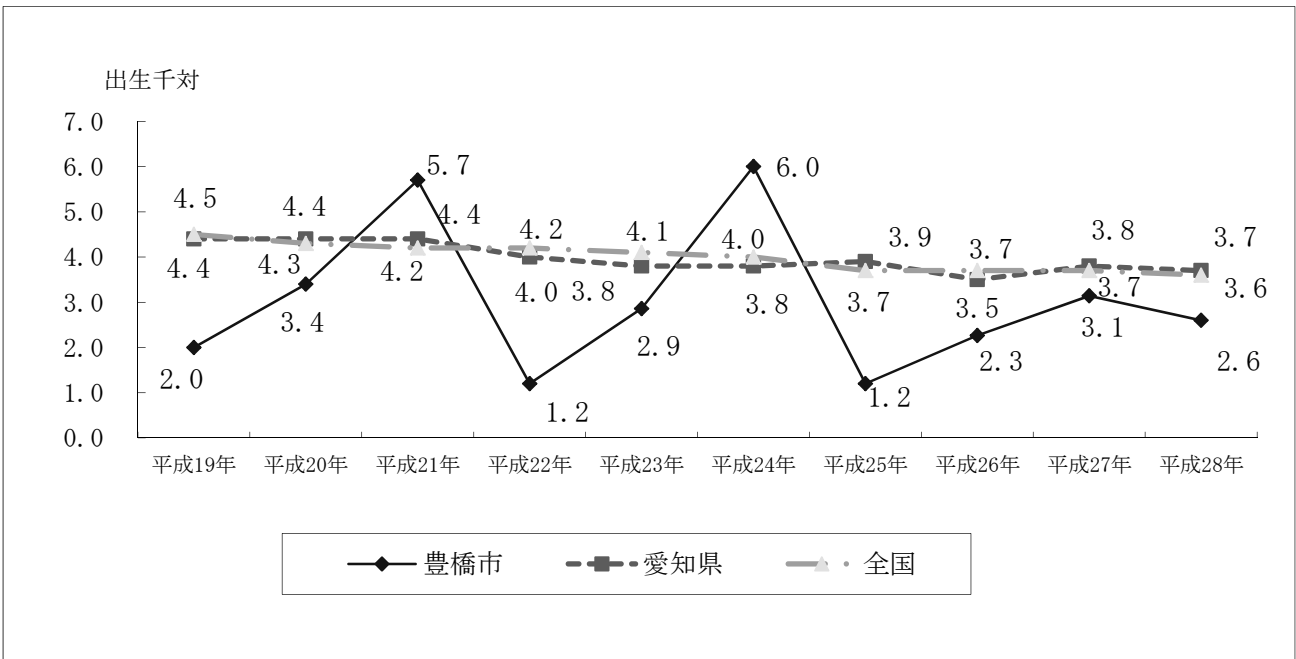
■ 図 8 : 10代の人工妊娠中絶実施率の推移



出典：全国、愛知県は「衛生行政報告例」、豊橋市は保健所健康政策課

「人工妊娠中絶実施率」：15歳から19歳の女子千人に対する人工妊娠中絶を実施した率

■ 図 9 : 周産期死亡率の推移

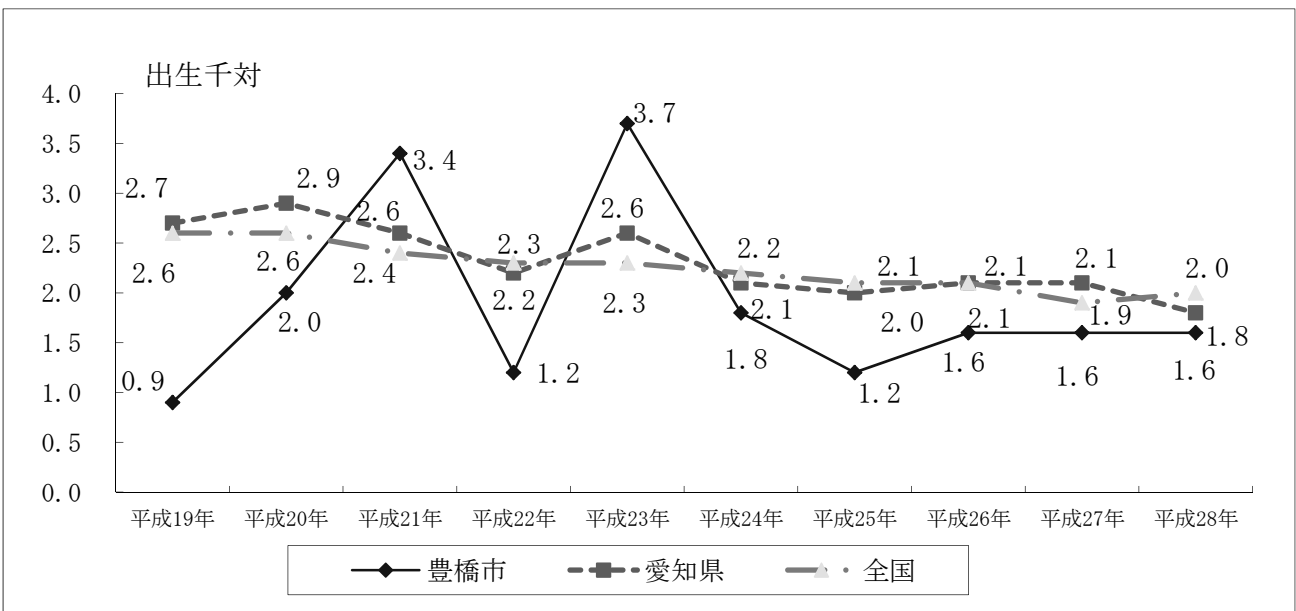


出典：愛知県衛生年報（平成28年は概数）

周産期死亡率：年間周産期死亡数（妊娠満22週以降の死産数＋早期新生児死亡数）÷年間出産数

（出生数＋妊娠満22週以降の死産数）×1,000

■ 図 10 : 乳児死亡率の推移



出典：愛知県衛生年報（平成28年は概数）

乳児死亡率：出生千人に対する乳児死亡数を比率で表したもの